

公益財団法人東京しごと財団委託事業 東京都補助事業

東京ジョブコーチ



CONTENTS

Customers
Voice

高木工業株式会社

武蔵村山市障害者就労支援センター
とらい

～お知らせ～

移転し、
「東京ジョブコーチ支援センター」
へ名称変更しました！

2019.秋
第15号

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙（年2回発行）



人事部 障害者雇用推進グループ長
相澤 輝雄 様

2004（平成 16）年入社。
2009（平成 21）年より障がい者雇
用担当。

高木工業株式会社

【事業】

業務請負事業
労働者派遣事業
有料職業紹介事業
スポーツ事業
保険代理店事業
不動産事業
警備事業

【創業】

1929年（昭和4年）

【所在地】

本社：東京都品川区

【URL】

<http://www.yes-takagi.com/>

専門的なアドバイスをしてくれる東京ジョブコーチの存在は

非常にありがたいと思います

御社の事業内容をお聞かせください。

当社は昭和四年創業、今年で創立九〇周年になります。本業は工場内で作業を行う物づくりを中心とした人材派遣と業務請負ですが、新たな事業として昭和五〇年に日本初となるインドアテニススクール「VIPインドアスポーツクラブ錦糸町」をオープンしました。現在では東京近辺を中心に直営と受託を合わせて八店舗を運営しています。

障がい者雇用を始めるきっかけは何でしたか。

平成二〇年、当時の統括部長（現取締役）が「どんなことがあっても法定雇用率だけは絶対にクリアしよう。障がいのある方に仕事をしてもらう雇用であれば何人でも雇用していい」と強い決意をもって「障害者雇用推進グループ」を人事部から独立させて立ち上げたことに始まります。本社や各事業所で雇用

を展開し、令和元年六月一日現在、全社で二・四三パーセントの雇用率を達成しています。障がいのある方々がどのような仕事をされているんですか。

身体障がい（重度、聴覚、内臓疾患）と精神障がいの方の大半は業務請負先、人材派遣先で、製造系や事務系の仕事をしています。また本社内では人事部門に事務補助や清掃担当として知的障がいの方と精神障がいの方、総務部門に知的と精神の重複障がいの方、契約管理部門に精神障がいの方が働いております。

その他、東京都内と近辺にある各テナスクール（TOPインドアステージ）では知的及び精神障がいの方々が、清掃スタッフとして働いています。

以前神奈川本社と呼んでいた綾瀬市にあるビルでも清掃チームとして知的障がいの方々も働いていました。ところがこのビルの売却が決まり、そこで働いていた五名は仕事がなくなってしまうことになりました。「どうしよう」と案じている時に先の取締役が「どんなことがあっても彼らの雇用を守るよう全力で取り組んでもらいたい」との厳命の下、彼らが働ける拠点を探し、以前の綾瀬市からほど近い海老名市に新たに事務所を設置しました。そこでDMの封入など軽作業を行っていたことで、障がい者も働けるようになりました。それほど遠くない将来にしっかりと利益を上げられる仕事をさせてあげたいと考えております。この五名の働く現場では、六〇代後半の男性社員が指導員として、障がいのある方をサポートしてくれています。当社の社風として、優しい社員が多いことも、職場環境におけるノーマライゼーションが進んできた大きな理由の一つであると言えます。障がいのある方を採用される時に大切にしている視点はありますか。

企業実習や就労の機会が多い特別支援学校の生徒より、一回働いたけれど何らかの理由で就労継続できず離職に至った方、再チャレンジを強く希望される方を積極的に採用したいと考えています。「働きたい」という気持ちをもっていらっしゃる方は、過去の経験を活かして働き続けられる力があると考えられます。「この会社の一員である」と帰属意識をもって働いていただけるかどうか、採用時に大切にしている視点です。また、採用後は障害者就労・生活支援セン

ターや区市町村障害者就労支援センターと連携を取り、生活と就労の両面からサポートしていただくことをお願いしています。入社後数年経過してから問題が起こることもあるため、入社時から長く継続してお付き合いいただける支援機関との関係を大切に行っています。

東京ジョブコーチ（以下、TJC）も支援機関と連携を取りながら支援させていただいています。

実は、TJCを使うか否かも、支援機関と相談しています。もちろん必要性がないと判断される場合もありますし、反対にとことん利用させていただくこともあります。

過去にTJCをご利用いただいたケースで印象に残る支援はございますか。

相模大野のテニスクールで働くAさんですが、支援開始当時、服装など職場が求めるルールが保たれていませんでした。TJCはAさんに対して「シャツはズボンの中に入れる、ベルトはしっかりと締める、ベルトが長すぎるのは短く切る、背筋はまっすぐ伸ばして歩く、掃除の作業が終わったら指差し確認をして、ヨシ！と言う」等の仕事に必要なルールを身に付けられるよう徹底して教えてくれました。Aさんは今も背筋をシャンと伸ばして歩いて、指差し確認もしっかりと行っています。TJCが課題を改善してくれたケースとして、印象に残っています。

他にも、**亀戸、氷川台、多摩など多数の事業所でもTJCをご利用いただき、ありがとうございます。**

氷川台の対象者は、朝九時の始業にも関わ

障がいのある方でも一定の配慮があれば企業就労できる方はたくさんいらつしやるので、これからも積極的に雇用していきたいです

らず、八時から仕事を始めてしまう知的障がいのある女性のBさんでした。それは就労上望ましくないことであるとお伝えした上で、就労時間を変更する等、大きな変化をつけなければならなかったため、TJCにお世話になりました。

家を出る時間、乗る電車、何時から仕事を始めるか等、適切にアドバイスいただき、最終的に八時半から一五時半という時間帯に定着させてから数年経ちました。現在Bさんは六十一歳になりましたが、今も「仕事するのが本当に楽しい」と話してくれています。

TJCに対するご意見はございますか。

支援回数は一〇回という限りがありますが十分だと思えます。原則、企業側が作業指導や、障がいのある方に関わる周りの社員への指導・教育も行います。生活面やご家族との関係は基本的に支援機関に行ってもらっています。TJCに関わっていただいたメリットは、障がい特性に適した説明の仕方や、コミュニケーションの取り方について、支援対象者や周囲の社員に丁寧に教えてくれたことです。専門的なアドバイスをしてくれるTJCの存在は非常にありがたかったです。

当社は他にも北は一関から、南は鳥栖まで営業所があります。雇用するにあたって、各都道府県の障害者就労支援センターだけに頼るのではなくTJCと同様のシステムがあればいいですね。各地で障がいのある方の雇用

がより進むのではないのでしょうか。全国への展開を切に願っております。

今後の展望をお聞かせください。

障がいのある方でも一定の配慮があれば企業就労できる方はたくさんいらつしやると思います。会社としては、これからも積極的に雇用していきたいと考えています。

最後に、私が心がけている障がいのある方との関わり方をお話ししてもよろしいですか。それは指導の際にも相手をひとりの大人として、社会人として尊重し、必ず丁寧語で話すよう心掛けていくことです。丁寧に接すれば、丁寧に答えてくれます。どんな方であっても一人の人間として捉え、きちんと対応することはこれからも大事にしていきたいですね。



高木工業エントランスにて
相澤さん、貴重なお話をいただき
ありがとうございました

センター長 富田 眞貴子 様



センター長 富田 眞貴子 様
社会福祉士・精神保健福祉士。
2018（平成30）年9月より現職。

社会福祉法人あかつきココロニー

【運営施設】

・武蔵村山市

就労移行支援・就労定着支援セルフあかつき
就労継続支援 B 型あかつき授産所
就労継続支援 B 型スペース・まどか
武蔵村山市障害者就労支援センターとらい
指定特定相談支援事業・指定障害児支援事業あ
かつきココロニー相談支援センター

・瑞穂町

就労継続支援 B 型瑞穂町福祉作業所さくら
瑞穂町心身障がい者（児）福祉センターあゆみ
瑞穂町障害者就労支援センター

【所在地】 東京都武蔵村山市

【URL】<http://www.akatuki.or.jp/>

職員全員の総合的な視点により、
ご本人を多角的にアセスメントし、マッチングに活かしています

貴所の事業内容について教えてください。

とらい（以下、当所）は、社会福祉法人あかつきココロニーが武蔵村山市（以下、市）から委託を受け運営している就労支援機関です。市内にお住まいの知的、精神、身体障害のある方を対象とする他、市内在住の方であれば障害者手帳の有無に関係なく支援させていただいております。令和元年五月現在、三二四名（精神一四〇名、知的一三九名、身体五五名、手帳無し四名、うち重複一四名）の方が登録しています。ご本人への支援内容としては、就職前はハローワークへの登録や履歴書作成、面接同行等を行います。就職後は、安定して就労が継続できるように月一回を目安としてご本人と面談を行っています。面談を通じて体調や職場環境の確認を行い、必要に応じて職場訪問の上、課題改善のための助言を

行ったり職場の方と話し合う機会を設けていただいたりしています。また、生活面が乱れていると、安定した就労が継続できません。生活上の支援においては、市の障害福祉課、地域生活自立センター、地域活動支援センター、保健所、医療機関等の関係機関とも連携しながら包括的な支援体制をつくっています。

企業への支援の一例としては「雇用したい」という相談を企業から受けた場合、当所の職員が訪問の上、雇用の進め方等をご説明し、仕事の切り出し等のご相談にも応じながら、具体的な雇用につなげています。当所では、どのサービスも無料でご利用いただけます。

貴所の利用の流れについて教えてください。

まずご本人よりお問い合わせの上、初回面談の予約をお願いしています。面談時に

は障がいの内容や成育歴等、職員から丁寧に聴き取っています。継続的な利用のご希望が確認できましたら「評価プログラム」を受けていただきます。プログラム後、ご本人に評価内容をお伝えした上で、ご希望があれば同時に利用登録をしていただいています。

「評価プログラム」の特色について教えてください。

二日間のプログラム日程を設定し、職員全四名が項目を分担してご本人のアセスメントを行っています。項目としては事務評価のほか、軽作業、ピッキング、模擬面接、履歴書作成の他に一般職業適性検査も受けていただいています。

職員の総合的な視点により、ご本人の得意な事、苦手な事をアセスメントしています。プログラム終了後「こういうお声掛けをしたら表情が明るくなった」、「こんな場面では表情が曇っていた」等、プログラム中のご本人の変化の様子についても職員間で情報共有を行っています。

就労未経験のご本人の場合には、法人内のB型事業所で「職場体験実習」を行っていただいています。ご本人の指示理解力、コミュニケーション力、長時間座っていられる持続力があるかどうか等、実習先の事業所職員にもアセスメントに協力してもらっています。

職員一人でアセスメントを行うと、どうしても主観や固定観念に偏るリスクがあり

ますが、職員全員が関わることにより、ご本人を多面的に見られていると思います。
職場開拓はどのように行っているのですか。

市内には駅がなく遠方には行きづらいため、地元での雇用の開拓に力を入れております。「自転車で通勤したい」というご本人のニーズが多いのですが、私が当所に勤務開始した数年前は、地元の雇用企業はほとんどありませんでした。自転車で近隣の企業を回って情報収集した時期もあります（笑）。

昨年度は二社、企業の採用担当者をお招きして面談会を開きました。面談後、六名の方が実習に進み五名の方が雇用までつながりました。五名とも、今も順調に就労しています。

また、毎年近隣のショッピングモールを運営する企業の協力を得てモール内店舗での数日間の職場体験実習を行っています。当初の目的は体験実習なのですが、この実習を機に雇用していただいた方も何名もいらっしゃいます。

東京ジョブコーチ（以下、TJC）をご利用いただいていたかがでしたでしょうか。

当所の職員だけではマンパワーが足りないところをいつもカバーしていただいていたことに助かっています。米菓工場A社では、三名の方を支援していただきました。対象者Cさんの勤怠が不安定になってきた時に、もう一度業務を見直していきなさいというニーズが企業からあがり、入っていただきました。また、W社の食品工場では対象者Dさん（知的）の就労前実習から採用後初期定着までをTJCに手厚く支援していただきました。Dさ

今後は、引きこもりの方の支援や低所得者層の支援やネットワークをさらに広げて、地域に根付いた手厚い支援を目指していきます

んは自発的な質問が難しい方でしたが、企業の方との間に誤解が生じないようTJCにはコミュニケーションの橋渡しをしていただきました。同社で働くEさん（知的）に対しても工場内での動き方や業務上の留意点をTJCと一緒に確認することで安全意识を高めることができました。

飲食店Gのキッチンで食器洗浄作業に従事するFさんは、作業の優先順位をつけることが難しい方でした。また、Fさんは自閉傾向があるため一方的に話し続けてしまう場面が多くコミュニケーションでも配慮を要することがありました。スタッフの方がFさんの対応に戸惑っている場面では、TJCより「そういう時は、Fさんの名前を呼んでから話しかけるとご本人に理解しやすいですよ」と助言してもらったことでスタッフの方が関わる上での安心感にもつながっていききました。

今後の展望について教えてください。

人口約七万三千人のコンパクトな市のため、顔の見える協力体制が取れている印象はありますね。他の地域の支援者の方から「いろいろな情報をタイムリーに共有できているのはすごいことですよね」と言っていたこともあります。

当所主催により、月に一回、市内支援関係事業所が集まって開催する「就労ネットワーク会議」も貴重な情報共有の場です。

今後は、引きこもりや低所得者層の方の支援を行っている各機関とのネットワークをさ

らに大切にしていきたいと考えています。最近では、一七年間在宅生活だった方がB型作業所利用を開始され、その後清掃職に就労できたという事例もあり、ネットワークの大切さを実感しています。

最近では、法定雇用率上昇の影響も大きいですが、一人雇用につながると企業との信頼関係ができて二人目、三人目と続いて雇用していただける企業が増え、ありがたいと思っています。ただ、最も大切にしていくことはご本人と職場のマッチングです。丁寧なアセスメントを通してご本人の強みを把握した上で、ご本人が職場で力を発揮できるよう、これからもサポートしていきたいです。地域で働き続けられる方がますます増えるように、定着支援の一助として、今後もTJCを積極的に活用していきたいと思っております。



とらい職員のみなさん
(左から) 細川さん、富田さん、大野さん、小林さん

～お知らせ～

移転し、「東京ジョブコーチ支援センター」へ名称変更しました！

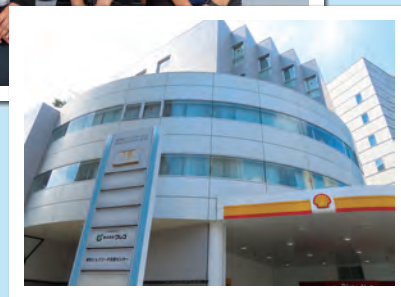
令和元年7月17日、
「東京ジョブコーチ支援室」から
「東京ジョブコーチ支援センター」へ
名称変更いたしました

また、移転に伴い、
連絡先が以下の通り変更となりました

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-11-2
代々木コミュニティビル3階

TEL(03)3378-7057
FAX(03)3378-7058

今後ともよろしくお願いいたします



来所ご希望の方は、事前にご連絡ください

表紙の絵：「海のパラダイス」

作者：片岡 京梧（かたおか きょうご）

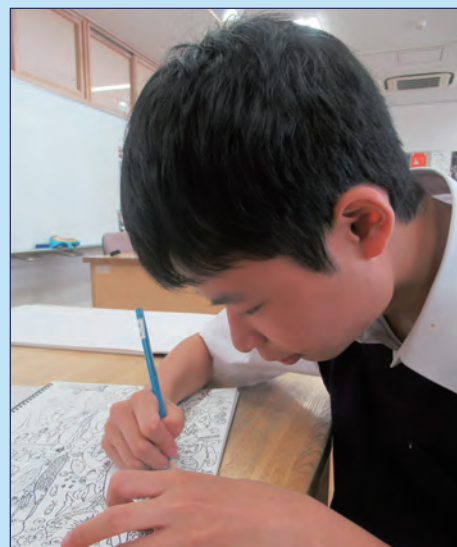
物心ついた頃から、絵を描くことが大好きで、時間があるといつも絵を描いていました。

何も見なくてもいろいろなポーズや絵を描くことができ、特に海の生き物や動物などが好きでたくさんの絵を描いています。



今回は、海の生き物を画用紙いっぱいに表示しました。

現在は、都立志村学園の2学年に在籍し、美術部に所属しています。平面制作や立体制作など、もち前の感性や創造力を生かしながら精力的に活動しています。



Contact us

▶ 事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-11-2 代々木コミュニティビル3階

TEL(03)3378-7057 FAX(03)3378-7058

Eメール tokyo-jc@ikuseikai-kyo.or.jp

ホームページ <http://www.ikuseikai-kyo.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

▶ 事業全般、東京ジョブコーチに関すること

公益財団法人 東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463

ホームページ <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>